

議員 循環型社会形成に向けた動きの中、ここ数年、数多くの法律が成立している。

そのうち、容器包装リサイクル法に基づき、ゴミの分別回収の方法を改め、リサイクルセンターの稼働を開始したが、現在の状況は、**市民生活部長** 新分別の実施により、燃えるゴミの総量に対して、容積で約25%の減量がなされたものと思われ。

また、混乱に対しては、



▲ゴミの減量化にご協力を

えて、今後十分に詰めてまいりたいと考えております。

議員 不法投棄対策の現状と、ポイ捨てや歩きタバコ禁止条例の導入については、

また、駅やポルトコースに限定して導入しては、

市民生活部長 昼

夜間の環境パトロールを実施し、郵便局、新聞販売所銀行との連携による情報収集を行っています。また、監視カメラの設置も検討しております。

ポイ捨て等につきましては、当面は啓発活動を続けていくが、地域を限定した条例の導入なども検討していきたいと考えております。

議員 独居の高齢者や障害者のために、ゴミの回収等を支援する、ふれあい収集についてどう考えるか。

市民生活部長 実施に向けて検討しております。

ゴミの減量化と不法投棄対策は

遠藤 英樹 議員

議員 ゴミの減量化とリユース、リサイクルは法に定める国民の義務となった。その推進に向けて、デポジット制度とゴミの有料化を検討しては、

市民生活部長 デポジット制度につきましては、種々の問題点を考慮いたしまして、今後の検討課題とさせていただきます。

また、ゴミの有料化につきましては、平成16年度を目途に導入を考えておりますが、廃市との関係を踏ま



行政視察レポート

交通環境対策特別委員会と、まちづくり特別委員会では、11月に先進地の行政視察を行いました。以下は、12月定例会初日に報告された、委員長報告の概要です。

静岡県
浜松市

交通環境対策

「ひと・まち・環境にやさしい、快適な交通・生活の実現を目指すまち」

オムニバス・タウン——浜松市

浜松市は、平成9年12月、全国に先駆けてオムニバス・タウンの指定を受けました。計画内容は、バスの走行環境の改善、交通施設等整備・改善、利便性の向上、社会的意義の高揚と、4本の施策を柱としています。この5年間の成果・課題など、総合的な評価としては、各事業の評価を見ても、現段階ではプラスに働い



▲浜松市役所にて

た、という数字はあまり出でてこないことですが、市域全体の中でバス乗降客の減少率が4%と、全国平均よりも少ないこと、市街地中心部におけるバス利用者は増加していること、低床バスを初め、ハイグレードバス停、バス利用者に対する駐輪場の整備など、ハード面でも多種多様な施設の整備・充実が図られており、「公共交通機関の利便性」に関する施策が、市民アンケートでは満足度のトップに位置していることでも理解できるように、事業効果は計り知れないものがあります。

視察時に、委員会一行も試乗しましたが、中心市街地活性化の一環として「ま

門真南駅前土地区画整理事業は、組合施行により、平成7年度から事業が開始され、現在、15年度に本換地、16年度には清算事務という予定で、事業を進めています。

組合設立・認可時点で34・3%だった減歩率は、市内他地区と比較検討した結果、現在、22%になっています。

施行地区面積は、約6・5haであり、門真南駅の駅前広場として7800平方メートルを確保し、本地区の東西軸となるべく、都市計画道路を広域幹線道路「第二京阪道路」とほぼ並行に配置

し、区画街路2本で第二京阪道路と接続させており、公園・緑地については、住居系ゾーンに3%ずつ配置しています。

施行地区面積のうち、事業施行後は、公共用地の面積が2万5931平方メートル、宅地の面積が3万7089平方メートル、保留地面積は1511平方メートルとなり、地区の中心4街区は、1200平方メートルから6000平方メートル単位の「スーパー街区」として配置して



▲門真市役所にて

総事業費は44億700万円、当初の資金計画で進めているとの説明でした。事業の問題点と今後の課題は、市の新たな玄関口にふさわしい「まちづくり」を行うため、用途地域を変更し、容積率を上げるとともに、土地の共同利用による、計画的で、効率的な業種・業態を配したく考えているが、いまだ、核になる企業の進出は決まっていない点と、地価の下落により、保留地処分価格が、計画時点の設定に比べ、現在、約半分に下落しており、その対応策に苦慮している点であるとの説明を受けました。

手塚 静枝 議員

音楽療法の取り組みは

して、音楽療法士が作成したメニューに基づき、隔週水曜日に実施しています。

内容は、大きな声で歌ったり、タンバリン、カスタネット、太鼓等の合奏や、リズムに合わせて足踏みをする等のリハビリを行っています。

その他にも、市内では心身障害者福祉センターの障害児を対象とした、療法士による音楽教室の開催や、小規模授産施設の「もくせい園」や「ゆうゆう」、障害児通園施設の「あすなる学園」でも実施しています。

高齢者については、15年度に実施予定の「転倒骨折予防教室」に組み入れを検討しています。また、音楽



▲じょうずに声合っていますよ

朝晩より昼間時の利用者が多く、利用の理由として「埼京線利用」「通勤・通学」「買い物・私用」「通院」の順になっており、改善点では、運行間隔、終発時刻、逆回りなどの意見があり、全体的に実験運行全般の満足度は「まあ満足」が60%を超える結果でした。来年度の本格運行を10月と考へ、十分検討してまいります。

療法士の養成や普及啓発については、今後、十分調査・研究してまいります。

議員 西部地区のtocoバス（西循環・美笹循環）実験運行の結果と、今後の対応は。

総合政策部長 西循環利用者数は8981人、一日平均147人。美笹循環利用者数は4860人、一日平均79人です。

朝晩より昼間時の利用者が多く、利用の理由として「埼京線利用」「通勤・通学」「買い物・私用」「通院」の順になっており、改善点では、運行間隔、終

まちづくり

大阪府
門真市

各種機能を集積し、都市拠点の形成を図るまちづくり

ちバス「く・る・る」の事業化も図られ、これからの高齢化社会、障害者に優しい都市をつくるため、公共機関が持つ根深い課題の克服と、しっかりと公共交

通の基盤づくりを目指し、行政・商店街・民間事業者などが一体となって取り組む各種施策に触れてきたところ。